

Press Release

2021年10月26日

## デジタルツインテストカットに スーパーコンピュータ「富岳」の利用を開始

DMG 森精機株式会社(以下、DMG 森精機)は、工作機械のテスト加工をデジタル化する「デジタルツインテストカット」の計算処理に「富岳」を利用した高速化を実現しました。

2021年2月より開始したデジタルツインテストカットは、実際の加工における工作機械の動的な稼働状態をコンピュータ上で再現し、サイクルタイムをはじめとする加工結果を算出する技術です。最短2営業日で加工結果を回答しており、お客様よりご好評いただいております。しかし、複雑な曲面で構成されるブレードや金型などは解析時間が長くなる傾向を持っています。そこで理化学研究所のスーパーコンピュータ「富岳」にデジタルツインテストカットを実装することによって実際には8時間かかる加工を98%削減する10分で結果を算出することを可能にしました。これにより加工結果を短時間で得られるとともに、従来のテスト加工で消費する工具、ワーク、クーラントが抑制でき、環境への配慮も可能になります。

DMG 森精機は今後もデジタルソリューションを通して、お客様の生産性向上とサステナブルな社会に貢献してまいります。

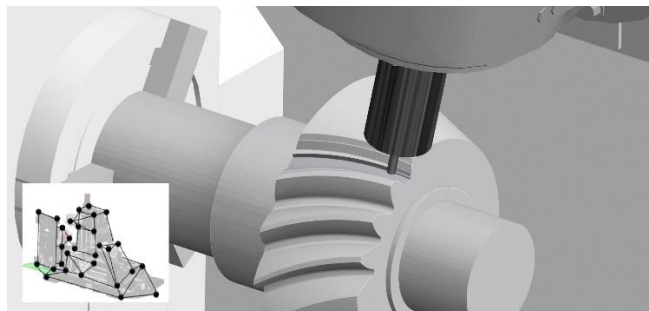


©RIKEN

スーパーコンピュータ「富岳」



実機でのテストカット



デジタルツインテストカットのイメージ図

※本研究は、R3「富岳」産業試行課題(課題番号:hp210202)を通じて、スーパーコンピュータ「富岳」の計算資源の提供を受け実施しました。

以上